

# かけ橋

まだ見ぬ君へ...



元吉原中学校では、三年生を中心に「体験クラブ」というクラブ活動を行っています。体験クラブは「手話」「手品」「料理」「パソコン」「英会話」の五種類で、内容は生徒の希望により決められました。

今回は、この体験クラブの中から「手話クラブ」の活動について紹介します。

元吉原中・体験クラブ

## 手話クラブ

生徒の個性を生かす

元吉原中では、「元中・思いやりの郷づくり」をテーマとした学校づくりに取り組んでいます。特に、福祉教育や郷土学習などに力を入れ、生徒の自主性を尊重しながら、生徒個々の興味や能力を伸ばそうと、さまざまな活動を展開しています。

体験クラブは、それらの活動の一端として、昨年度から始まりました。三年生が主な対象で、三年生が部活動を引退する二学期以降から二月ころまでが、活動期間です。そのため、受験生活からのリフレッシュにもつながっているようです。



また、生徒のニーズに合わせて、講師に地域の人を「ゲストティーチャー」として招いていることも特徴の一つです。

### 手話を通して学ぶ福祉の心

体験クラブの一つ、「手話クラブ」には、積極的に手話を学ぼうと男子十六人、女子十七人の合計三十三人が参加しています。

手話クラブのゲストティーチャーは、今井在住の西野二見江さんと鈴川在住の鈴木日出子さんのお二人。生徒が楽しく手話を覚えられるよう、ゲストティーチャーの二人は、とてもわかりやすく教えてくれます。

例えば、生徒同士で自己紹介をしたり、会話ゲームをしたりしながら、生徒は多くの手話を覚えていきます。また、手話での歌も好評です。西野さんや生徒がピアノで伴奏して、「四季の歌」や「ふるさと」を手話で表現します。この方法で手話にリズム感が生まれます。

生徒たちは、手話を通して福祉の心を学んでいくのです。



富士市が生んだ  
Jリーグのヒーロー  
川口能活後援会の会長

櫻村好夫さん  
(柚木)

▼川口選手と櫻村さん  
(後援会発会式から)



川口能活後援会の会長になってくれないか、と友人に頼まれたのは、昨年の夏ごろでした。

後援会は、川口君の出身地である天間地区の有志が事務局となり、一月六日の発会式に向けて準備を始めていました。後援会の中には、以前からの友人や、私が経営する病院の患者さんも多くいました。それに私自身もスポーツは大好きなので、快く会長の就任依頼を引き受けさせてもらいました。

私は、ワイズメンズクラブという団体に所属し、活動の一つとして県東部の青少年サッカー競



技会のサポートを行っています。また、私の病院では従業員だけでなく、岩松少年野球団と一緒に、毎年「富士まつりの市民総おどり」に参加しているんです。ほかには、相撲の「放駒部屋」富士後援会の会長もしています。やっぱり私はスポーツが好きなんです。今では週二、三回、早起きして岩本山へ登り、公園内を歩く程度ですが、学生時代はラグビーに熱中していました。

と 持やけがなどに注意しながら頑張っていますね。

川口君は、富士市出身の日本を代表する人材です。オリンピックやワールドカップで、日本代表ゴールキーパーとして活躍することを期待しています。

そして、後援会では、川口君が十分に実力を発揮できるようにサポートしていきたいと考えています。ぜひ、市民の皆さんも応援してください。